Essay エッセイ

世界の国旗と私

国旗・儀典専門家、ユーラシア21研究所理事長
吹浦 忠正（昭和35卒）

ふきうら・ただまさ／1941年、秋田市生まれ。早稲田大学政経学部卒、同大学院修了。国際赤十字バングラデシュ、インドシナ各駐在代表、埼玉県立大学教授などを経て、現在、ユーラシア21研究所、社会福祉法人さぽうと21各理事長。法務省入管局参与員、拓殖大学客員教授など。国旗に関する出版物は40点以上、「オリンピックのトリビア」を週刊新潮で長期連載中のほか、メディアでも活躍中。
E-mail:taddy@star.odn.ne.jp

世界の国旗に強い関心を抱いてから、思えば60余年になる。

小学校4年生の時、地図帳を見て気付いたのだが、「北欧の国旗はどうしてみな十字型なのか」と担任の教師に尋ねた。すると、「そんなことより算数、国語、理科、社会などをしっかり勉強しなさい」と言われた。この時の教師の真意は不明だが、今と違って？素直な私はその一言を忠実に守った（はずである）。しかし、結果は、この4教科に限らず、その後のあらゆる教科や学問が国旗の理解に役だった。

幾何学、化学、光学、色彩学、史学、法学、宗教学、民族学、地理学、政治経済学、語学、音楽…どれもこれも国旗研究にとって絶対的に必要だった。恩師に感謝したい。

東・東南アジアの国旗には赤があって緑がない。赤の多くは太陽に由来し、緑は熱帯・亜熱帯雨林気候にあっては特に注目されない色ということか。それがミャンマー、バングラデシュ以西となると、緑が断然幅を利かせる。預言者ムハンマドのターバンが緑だったということから、特にイスラム教徒の多い国の国旗に共通だ。

欧州の国旗には月や星がまずない。長く対立していたトルコの国旗が三日月と星だからか。旧ソ連や7つに分裂した旧ユーゴなどはその中心になったソ連やセルビアの国旗とほとんど似ていないデザインを採択した。

アフリカの国旗では赤、黄、緑がぐっと増える。古来、独立を保ってきたエチオピアの国旗に由来し、いつの日にかの「アフリカの統一」をその三色に託したのだ。

南北アメリカの国旗では青。アメリカン・ブルーとでも覚えたい。そしてオセアニア各国の国旗は南十字星。この十数行だけでも国旗でさまざまな想像力を掻き立てられるかと思う。

さて、1964年の東京五輪組織委で専門職員として国旗を担当し、98年の長野の冬季五輪では顧問として同じような任務に関わった。58年の東京でのアジア大会で中華民国の国旗を逆掲揚した失敗に懲りた諸先輩が、私のような若造の趣味を「お国」と世界のために役立てるようにと誘ってくれたのである。

それが今度は2020年の東京オリンピック。50年前とは国旗についてでも大きく変わった。64年の五輪には94カ国が参加した。それが2008年の北京、12年のロンドンの両五輪では208の国と地域になった。しかも、64年の五輪参加国中、40カ国近くの国旗がその後、変更になったのだ。

加えて、染や縫製のベテランの職人がほとんどいなくなった。幸い、コンピューターでのインクジェット方式が開発されてはいるが、特殊な布地の開発や調達からしなくてはならない。家族からは「健康に気を付けて長生きを」といわれるが、老生は早く次世代が出て来てくれることを期待したい。

前回の東京五輪が決まった時（1959年）、私はまだ秋高生に過ぎなかったのだから。

東京五輪開会式直前の筆者
国立競技場メインスタンド下の
式典本部前で（1964年10月10日）

MASAKI EAR.NOSE & THROAT CLINIC
院長 真崎 雅和（昭和49年卒）
医療法人 真和会
真崎耳鼻咽喉科医院
〒011-0946 秋田市土崎港中央6-8-3
TEL.018-845-0234
FAX.018-847-1321
masaki@medical.email.ne.jp

稲庭うどん・そうめん製造
株式会社 無限堂
代表取締役社長
大島 千明
（昭和49年卒）

公認会計士・税理士
沢田 祐治
（昭和39年卒）
〒010-8506
秋田市東通仲町4−1
秋田拠点センターアルヴェ4F
TEL. 018−832−4137
FAX. 018−833−1027

TOHOKU
秋田東北商事株式会社
Akita Tohoku Syoji. co.,ltd.
取締役社長
近藤 嘉之
（昭和39年卒）
〒010-0061
秋田市卸町4丁目8-9
TEL.018-863-3611㈹ FAX.018-863-3602
URL : http://www.akita-tohoku.co.jp/